

日本の電気料金上昇の要因分解

杉山大志（2026年9月25日）

「研究ノート 日本の電気料金上昇の要因分解」
キヤノングローバル戦略研究所（CIGS）

日本の電気料金上昇の要因分解

1. 2010年度から2024年度まで電気料金上昇について、家庭用と産業用の両方を対象に要因分解を行った。
2. 主な押上げ要因には、
 - 再エネ賦課金の増加、
 - 原子力発電の停止を火力で補う追加燃料費、
 - 円建て燃料価格の上昇がある。
3. 円建て燃料価格の上昇には、
 - ドル建て価格の上昇だけでなく、
 - 円安が大きく寄与している

「電力システム改革」が約束した価格低下は起きていない

図1 家庭用と産業用の平均電気料金

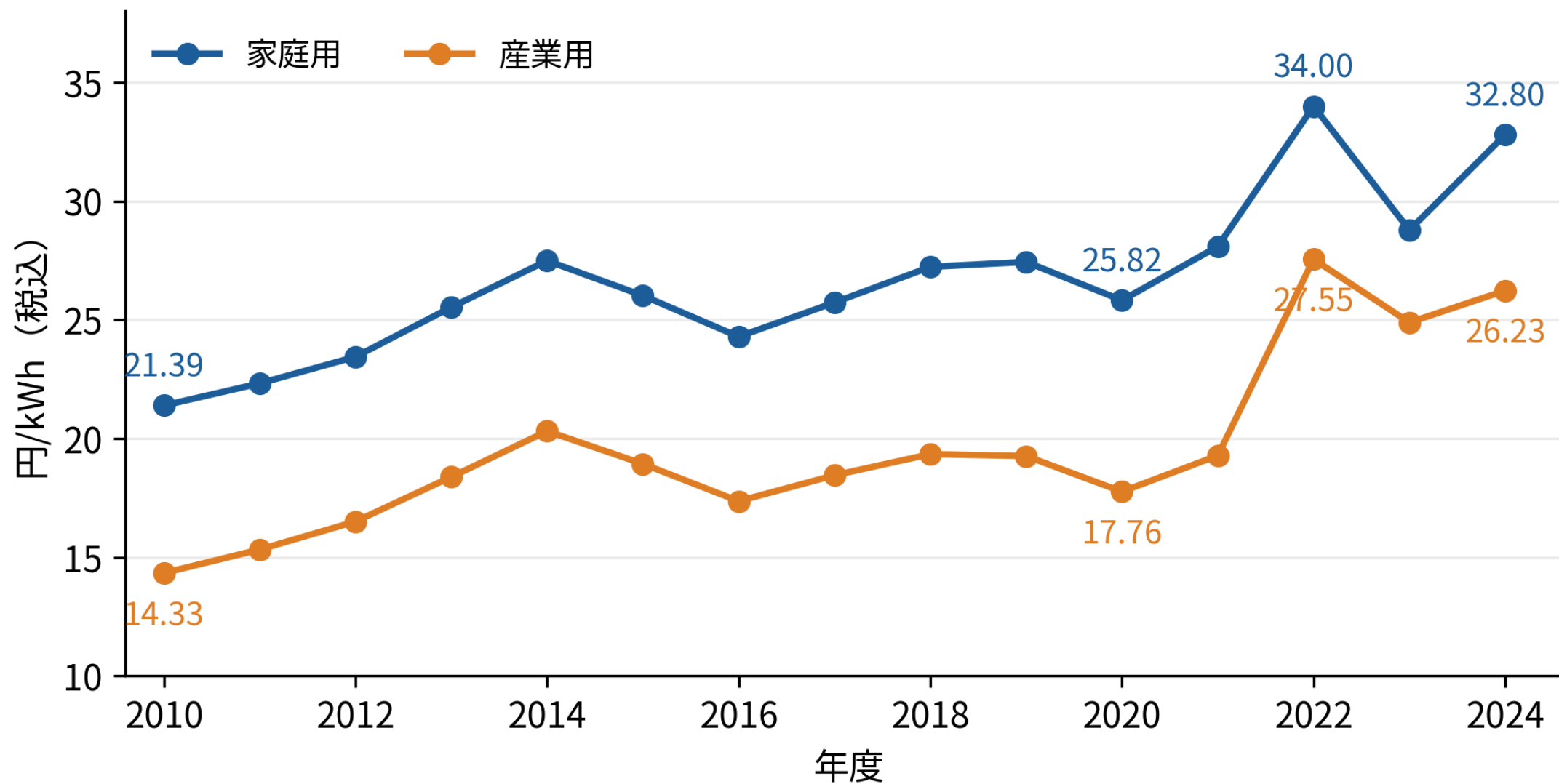


図2 原子力発電比率と再エネ賦課金

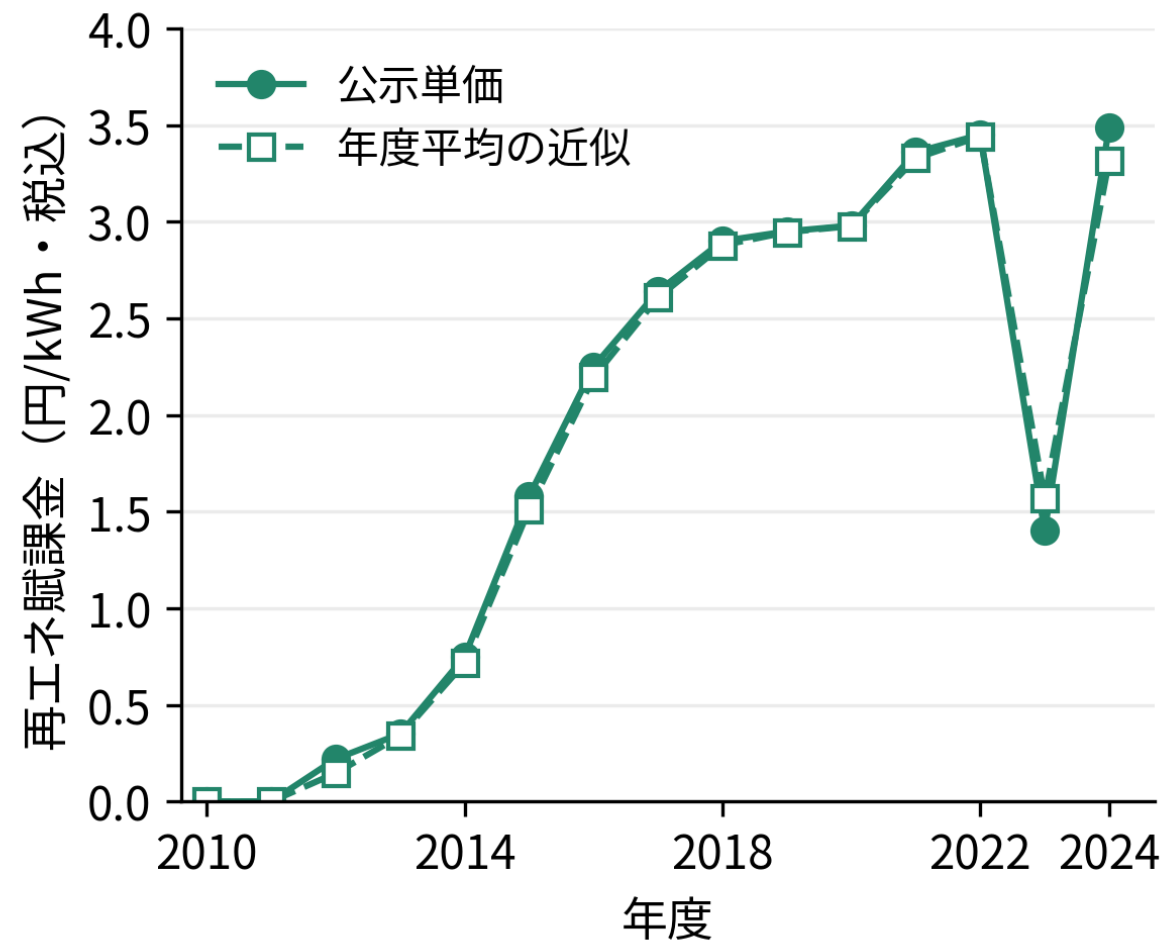
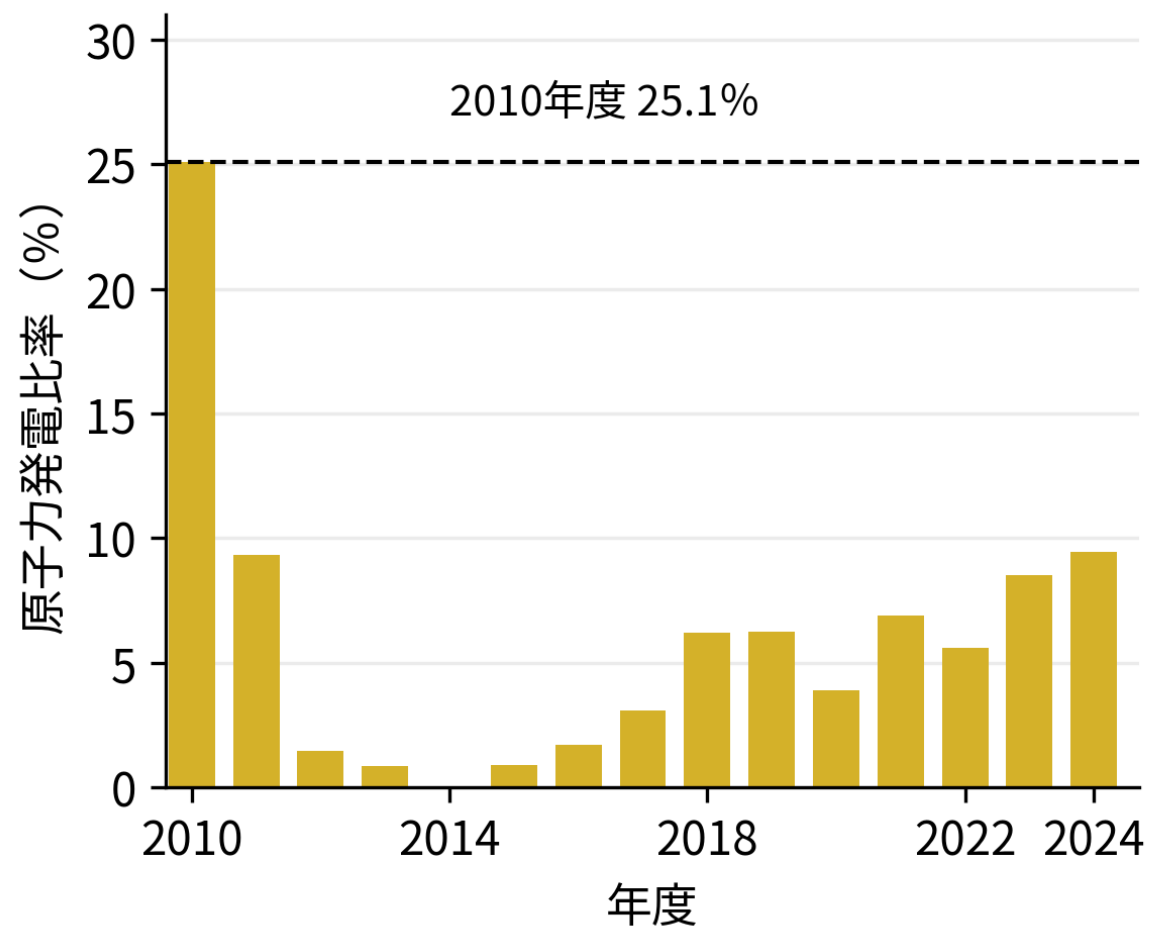


図3 石炭 石油 ガスの熱量当たり円建て輸入価格

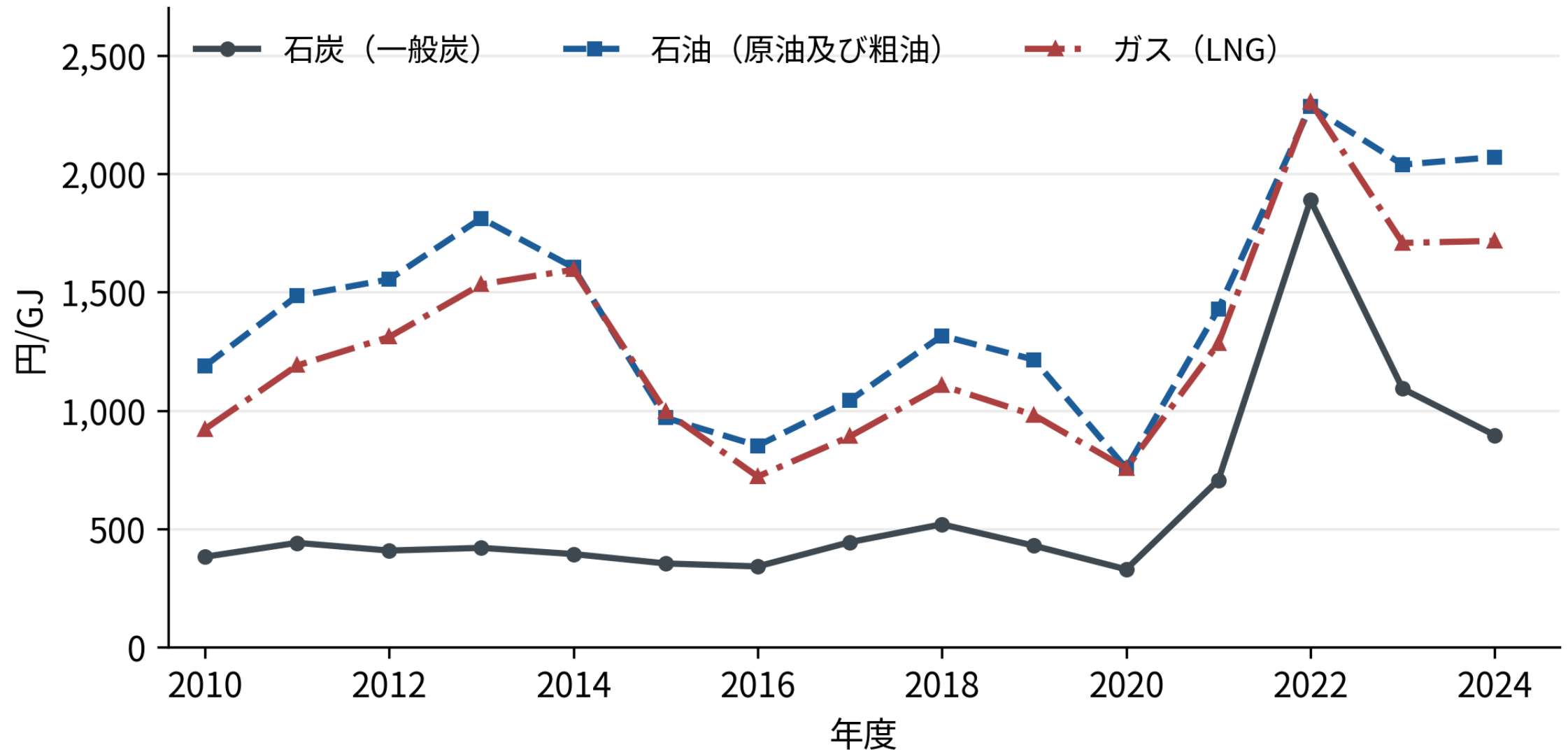


図4 火力燃料単価の変化の要因分解

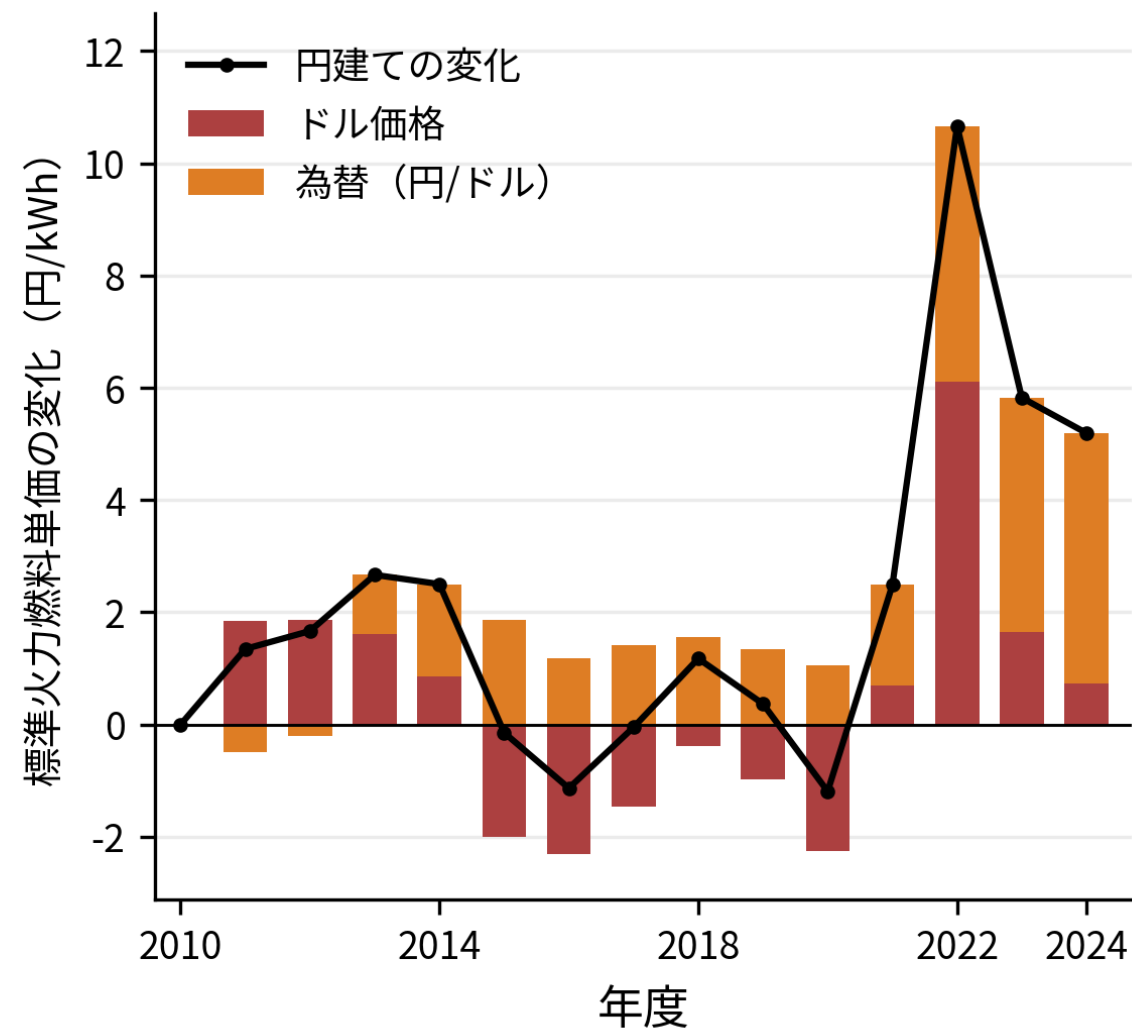
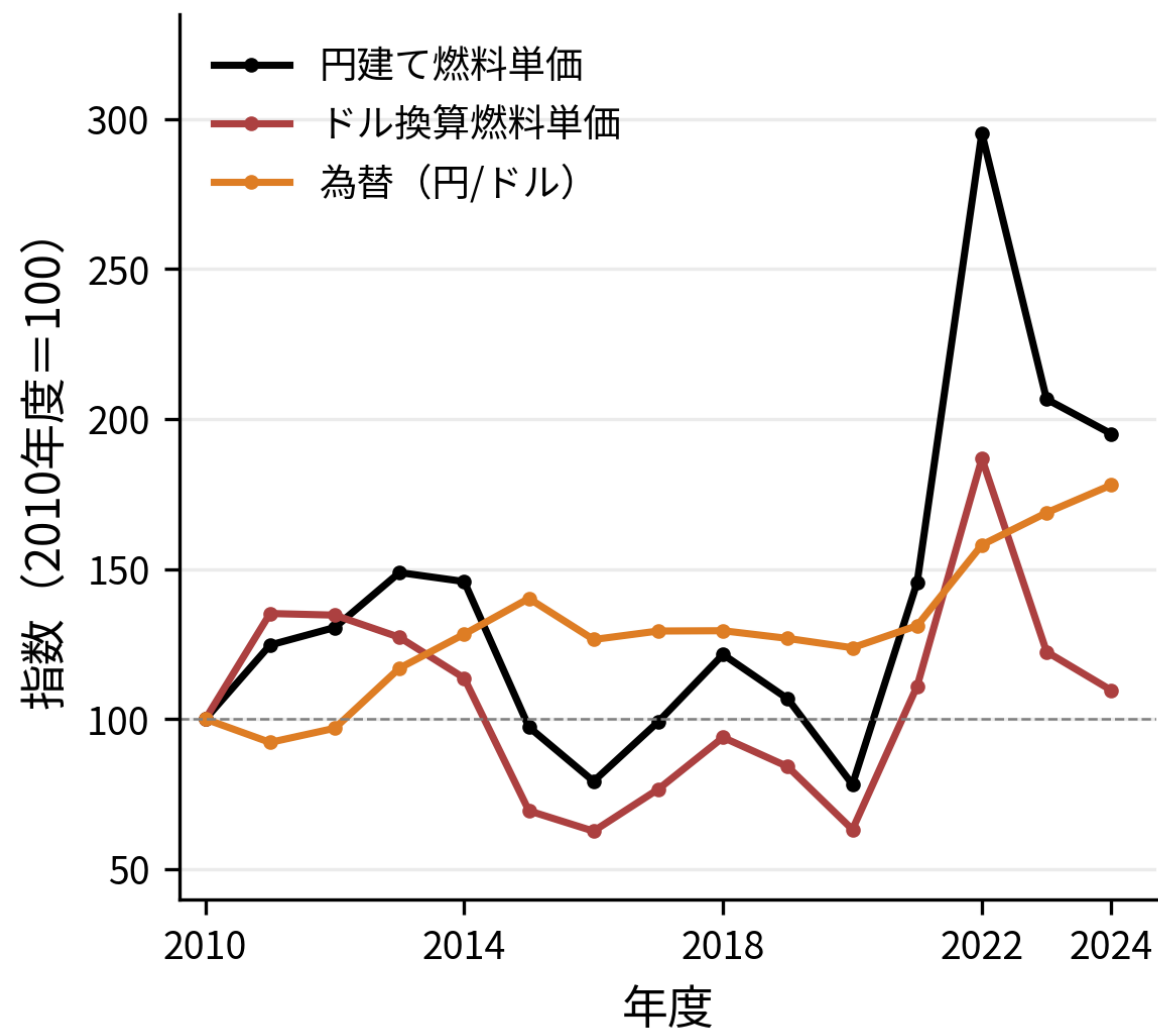


図5 家庭用料金変化の要因分解

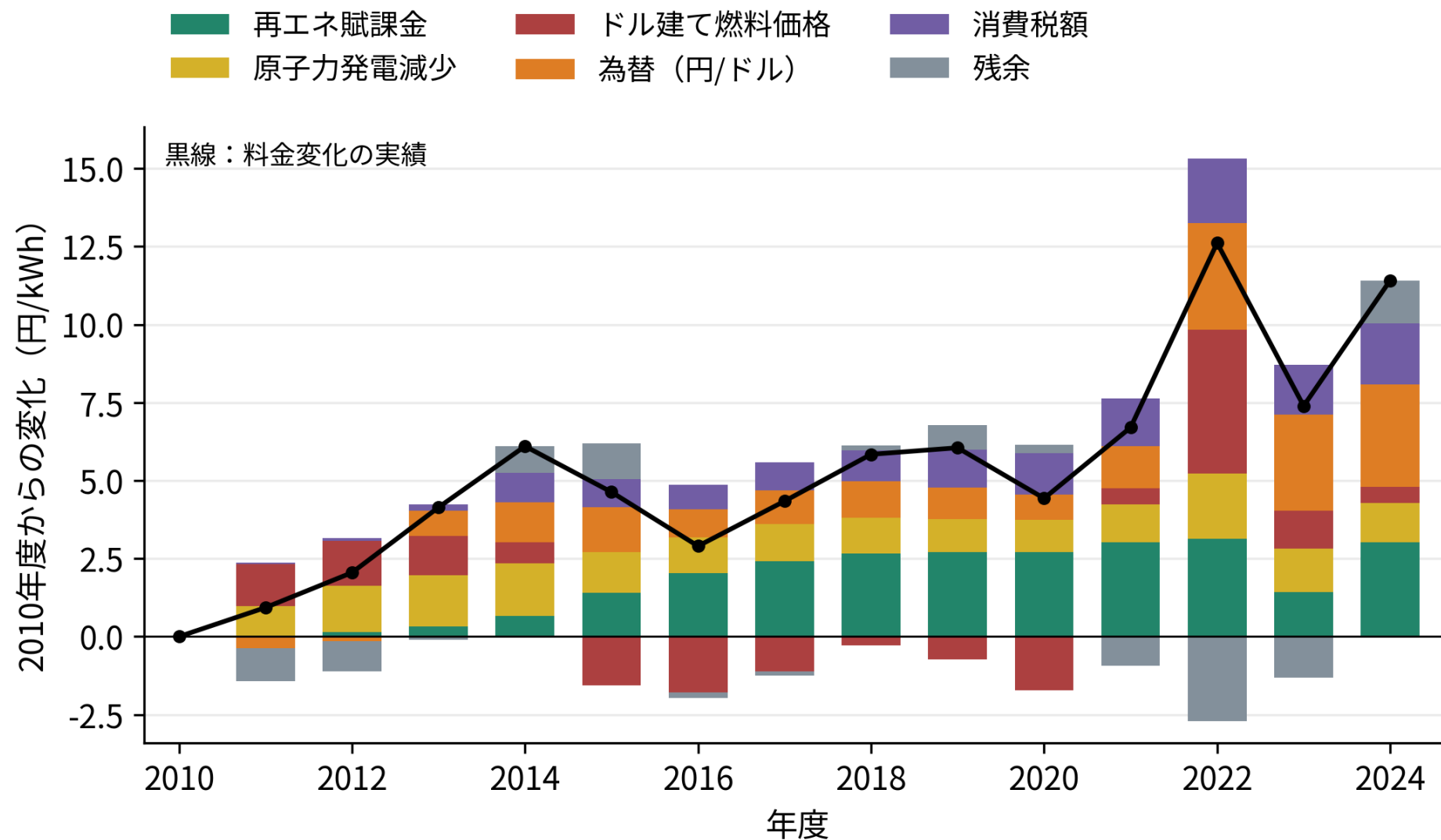
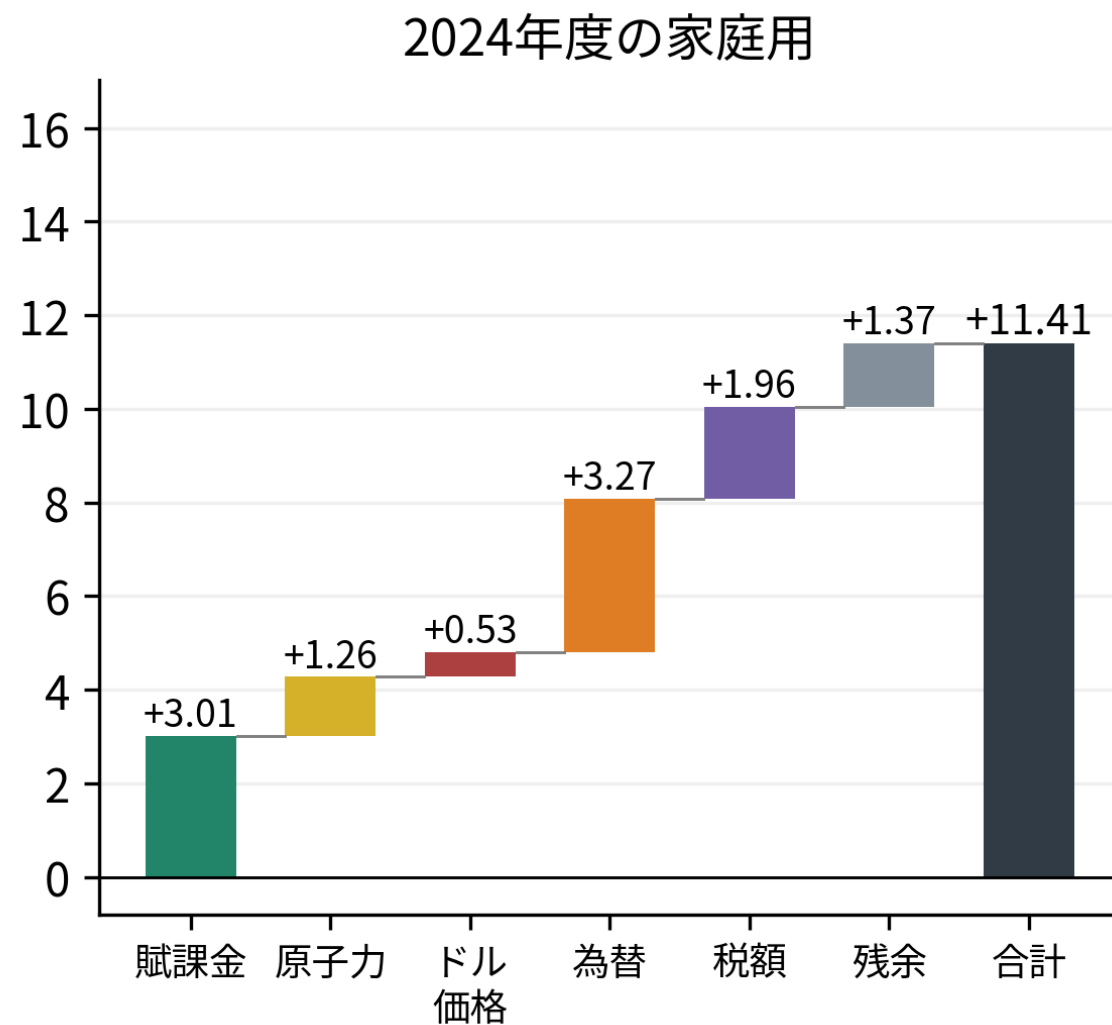
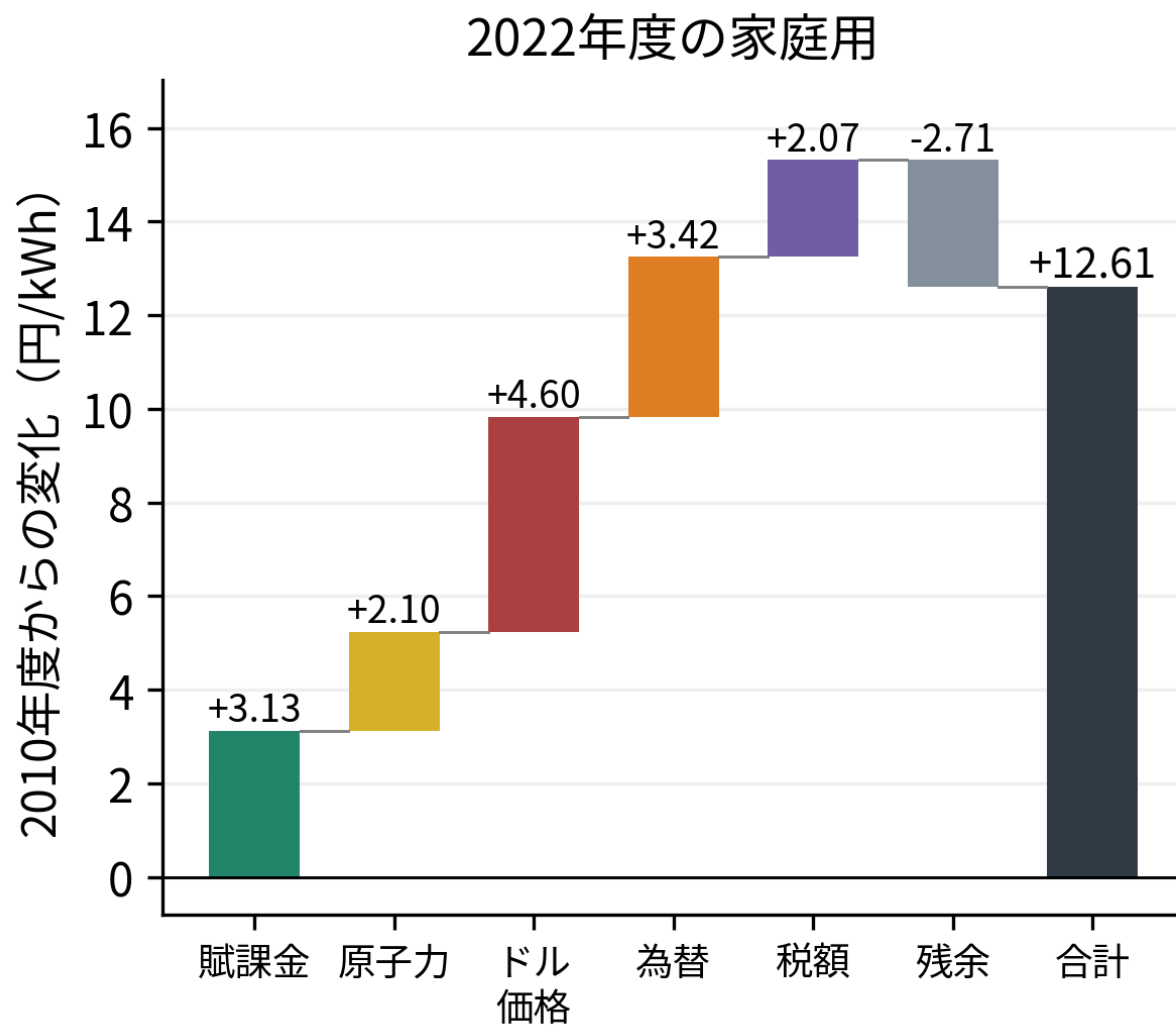


図7 電気料金上昇の内訳



日本の電気料金上昇の要因分解

1. 2010年度から2024年度まで電気料金上昇について、家庭用と産業用の両方を対象に要因分解を行った。
2. 主な押上げ要因には、
 - 再エネ賦課金の増加、
 - 原子力発電の停止を火力で補う追加燃料費、
 - 円建て燃料価格の上昇がある。
3. 円建て燃料価格の上昇には、
 - ドル建て価格の上昇だけでなく、
 - 円安が大きく寄与している

「電力システム改革」が約束した価格低下は起きていない

以下は予備

図6 産業用料金変化の要因分解

